

別紙-1①(管工事)

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(監督員)

[入力方法] 入力は「1」(半角)又は「0」(半角)又は「-」(半角)の3種類のみ

審査項目	細 別	a	b	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	評価項目には「1」を入力 評価できない項目には「0」を入力 評価対象外は「-」を入力 その他 ●判断基準 評価値(%)が90%以上..... a 評価値(%)が80%以上90%未満..... b 評価値(%)が80%未満..... c 評価数 評価値 判定	「評価対象項目」 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。 施工計画書を、工事着手前に提出している。 作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している。 元請が下請の作業成果を検査している。 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。 工場制作期間における技術者を適切に配置している。 機械設備、電気設備等について、製作工場における社内検査体制(規格値の設定や確認方法等)を整えている。 その他 理由：			<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 上記該当があれば・・・d 該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力 評価値	<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当があれば・・・e 該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力 評価値
①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目には「-」を入力する。 ②評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。						
	II. 配置技術者(現場代理人等)	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	評価項目には「1」を入力 評価できない項目には「0」を入力 評価対象外は「-」を入力 その他 ●判断基準 評価値(%)が90%以上..... a 評価値(%)が80%以上90%未満..... b 評価値(%)が80%未満..... c 評価数 評価値 判定	「評価対象項目」 【全体を評価する事項】 「施工プロセス」のチェックリストのうち、配置技術者について指示事項が無い。 作業主任者を選任し、配置している。 専門技術者を専任し、配置している。 【現場代理人を評価する項目】 現場代理人が、工事全体を把握している。 設計図書と現場との相違があった場合は、監督員と協議するなどの必要な対応を行っている。 監督員への報告を適時及び的確に行っている。 【監理(主任)技術者を評価する項目】 書類を上水道配管工事標準仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、整理している。 契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している。 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。 監理(主任)技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。 港湾工事等潜水作業従事者を適正に配置している。 港湾工事等海上起重作業船団長を適正に配置している。 その他 理由：			<input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 上記該当があれば・・・d 該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力 評価値	<input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当があれば・・・e 該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力 評価値
①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目には「-」を入力する。 ②評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。						

別紙－1②（管工事）

[入力方法] 入力「1」（半角）又は「0」（半角）又は「-」（半角）の3種類のみ

（監督員）

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	評価項目には「1」を入力 評価できない項目には「0」を入力 評価対象外は「-」を入力 その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する。	「評価対象項目」 「施工プロセス」チェックリストのうち、施工管理について指示事項が無い。 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したもとなっている。 現場条件の変化に対して、適切に対応している。 工事材料の品質に影響がないよう保管している。 日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 日常の品質管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 現場内での整理整頓を日常的に行っている。 使用材料の品質証明書等及び写真等を整理している。 工事打合せ簿を、不足無く整理している。 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。 工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の機械及び車両を使用している。 その他（理由：。 ）			<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。  上記該当があれば・・・d  該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力  評価値	<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。  上記該当があれば・・・e  該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力  評価値
		●判断基準 評価値（%）が90%以上・・・・・・・・・・ a 評価値（%）が80%以上90%未満・・・・・・・・ b 評価値（%）が80%未満・・・・・・・・・・ c  評価数 評価値 判定			①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目には「-」を入力する。 ②評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	
	II. 工程管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	評価項目には「1」を入力 評価できない項目には「0」を入力 評価対象外は「-」を入力 その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する。	「評価対象項目」 「施工プロセス」のチェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。 実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。 時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れがない。 工事の進捗を早めるための取組を行っている。 適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。 休日の確保を行っている。 計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。 その他（理由：。 ）			<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。  上記該当があれば・・・d  該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力  評価値	<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。  上記該当があれば・・・e  該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力  評価値
		●判断基準 評価値（%）が90%以上・・・・・・・・・・ a 評価値（%）が80%以上90%未満・・・・・・・・ b 評価値（%）が80%未満・・・・・・・・・・ c  評価数 評価値 判定			①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目には「-」を入力する。 ②評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	

別紙－1 ③ (管工事)

[入力方法] 入力は「1」(半角)又は「0」(半角)又は「-」(半角)の3種類のみ

(監督員)

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	III. 安全対策	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	評価項目には「1」を入力 評価できない項目には「0」を入力 評価対象外は「-」を入力 その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する。	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックリストのうち、安全対策について指示事項が無い。 <input type="checkbox"/> 災害防止(工事安全)協議会等を1回/月以上行っている。 <input type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練等を半日/月以上実施している。 <input type="checkbox"/> 新規入場者教育の内容に、当該工事現場特性を反映している。 <input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。 <input type="checkbox"/> 過積載防止に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。 <input type="checkbox"/> 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基いて実施している。 <input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。 その他 { 理由： ●判断基準 評価値(%)が90%以上..... a 評価値(%)が80%以上90%未満..... b 評価値(%)が80%未満..... c 評価数 評価値 判定			<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員が文書による改善指示を行った。  上記該当があれば・・・d  該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力  評価値	<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。  上記該当があれば・・・e  該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力  評価値
①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目には「-」を入力する。 ②評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。						
	IV. 対外関係	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	評価項目には「1」を入力 評価できない項目には「0」を入力 評価対象外は「-」を入力 その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する。	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。 <input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。 <input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。 <input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。若しくは、苦情に対して適切な対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 その他 { 理由： ●判断基準 評価値(%)が90%以上..... a 評価値(%)が80%以上90%未満..... b 評価値(%)が80%未満..... c 評価数 評価値 判定			<input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員が文書による改善指示を行った。  上記該当があれば・・・d  該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力  評価値	<input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。  上記該当があれば・・・e  該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力  評価値
①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目には「-」を入力する。 ②評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。						

別紙－1④ (管工事)

(監督員)

審査項目		a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  I. 出来形  ※当該欄で評価する場合は上のチェックボックスをチェックして下さい。	管工事  <input type="checkbox"/>	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのバラツキが規格値の概ね50%以内である。  ※ ※管工事における出来形管理項目について実測値がすべて許容値の50%以内に入っていれば『b』評価とし、それ以外であれば『c』評価とする。ただし、検査員検査での結果は除く。バラツキの判断は別紙－4で参照して判断する。  入力は、該当する項目に「1」（半角）を、該当しない項目はブランクのままとする。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのバラツキが規格値の概ね80%以内である。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。  ※上記項目に該当があれば・・・d	契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。  ※上記項目に該当があれば・・・e
① 出来高の評価は、工事全般を通じて評定するものとする。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事事目的物の形状及び寸法をいう。 ③ 出来形管理とは、「上水道配管工事標準仕様書」、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体型であるが、当該管理基準によりがたい場合等については、監督員と協議の上で出来形管理を行うものである。 ④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。						
評価項目には「1」を入力  評価できない項目には「0」を入力  評価対象外は「-」を入力  その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する。	機械設備工事  <input type="checkbox"/>	適切である  「評価対象項目」 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足している。 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理している。 不可視部分の出来形を写真撮影している。 塗装管理基準の塗膜厚管理を適切にまとめている。 溶接管理基準の出来形管理を適切にまとめている。 社内の管理基準に基づき管理している。 設計図書に定められている予備品に不足が無い。 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録している。 その他 { 理由 : ●判断基準 評価値が80%以上・・・・・・ a 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ b 評価値が60%未満・・・・・・ c	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば・・・d  該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力  評価値	契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。  上記該当があれば・・・e  該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力  評価値
①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目には「-」を入力する。 ②評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 評価対象項目数 ( ) ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。						
	電気設備工事・通信設備工事・受変電設備工事  <input type="checkbox"/>	適切である  「評価対象項目」 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。 機器等の測定（試験）結果が、その都度管理図表などに記載され、適切に管理している。 不可視部分の出来形を写真撮影している。 設計図書に定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理している。 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 設備の据付及び固定方法が設計図書又は承諾図書通り施工している。 配管及び配線が、設計図書又は承諾図書通りに敷設している。 測定機器のキャリブレーションを、定期的の実施している。 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 社内の管理基準に基づき管理している。 その他 { 理由 : ●判断基準 評価値が80%以上・・・・・・ a 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ b 評価値が60%未満・・・・・・ c	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば・・・d  該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力  評価値	契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。  上記該当があれば・・・e  該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力  評価値
①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目には「-」を入力する。 ②評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 評価対象項目数 ( ) ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。						





工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(総括・主任監督員)

審査項目	細 別	a	b	c	d	e		
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている		
2. 施工状況  評価項目には「1」を入力  評価できない項目には「0」を入力  評価対象外は「-」を入力  その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する。	II. 工程管理	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 工程管理を適切に行ったことにより、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する好印象を与えた。 <input type="checkbox"/> 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。  <input type="checkbox"/> 災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。 その他 [ 理由： 。 ]			理由： 。  <input type="checkbox"/>  上記該当があれば・・・d  ※必ず理由を記入  該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力  評価値		理由： 。  <input type="checkbox"/>  上記該当があれば・・・e  ※必ず理由を記入  該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力  評価値	
	●評価基準 評価値が90%以上・・・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・ b 評価値が80%未満・・・・・・・・ c	評価数 評価値 判定	①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目には「-」を入力する。 ②評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値 ( ) = 該当項目数 ( ) / 評価対象項目数 ( ) ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。					
	III. 安全対策	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。 <input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全協議会での活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。 その他 [ 理由： 。 ]			理由： 。  <input type="checkbox"/>  上記該当があれば・・・d  ※必ず理由を記入  該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力  評価値		理由： 。  <input type="checkbox"/>  上記該当があれば・・・e  ※必ず理由を記入  該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力  評価値	
	●評価基準 評価値が90%以上・・・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・ b 評価値が80%未満・・・・・・・・ c	評価数 評価値 判定	①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目には「-」を入力する。 ②評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値 ( ) = 該当項目数 ( ) / 評価対象項目数 ( ) ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。					





工事成績評定の考査基準

(総括・主任監督員)

[入力方法] 入力は「1」(半角)又は「0」(半角)又は「-」(半角)の3種類のみ

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c
6. 社会性等  評価項目には「1」を入力評価できない、及び対象外の場合は入力しないで下さい。	I. 地域への貢献度  その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する。	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない
	<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。</p> <p><input type="checkbox"/> 定期的に広報紙の配布や現場見学会を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p><input type="checkbox"/> 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p><input type="checkbox"/> 災害時において、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 [ 理由 : _____ ]</p> <p>●判断基準</p> <p>該当項目が5個以上 . . . . . a</p> <p>該当項目が4個以上 . . . . . a'</p> <p>該当項目が3個以上 . . . . . b</p> <p>該当項目が2個以上 . . . . . b'</p> <p>該当項目が1個以下 . . . . . c</p> <p>該当項目数 判定</p>					

工事成績評定の考査基準

（総括・主任監督員）

〔記入方法〕 該当する項目の□に1(半角)を入力する。

考査項目	法令遵守等の該当項目一覧表																				
7. 法令遵守等  該当項目に1を記入 該当外は空白  1～7欄の選択は 1個のみ可能  1～8に該当ある場合 9は必ず空白	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width:80%; text-align: center;">措置内容</th> <th style="width:20%; text-align: center;">点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 指名停止3ヶ月以上</td> <td style="text-align: center;">-20点</td> </tr> <tr> <td>2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">-15点</td> </tr> <tr> <td>3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">-13点</td> </tr> <tr> <td>4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">-10点</td> </tr> <tr> <td>5. 文書注意</td> <td style="text-align: center;">-8点</td> </tr> <tr> <td>6. 口頭注意</td> <td style="text-align: center;">-5点</td> </tr> <tr> <td>7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった。</td> <td style="text-align: center;">-3点</td> </tr> <tr> <td>8. その他  <div style="display: flex; align-items: center; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px; margin: 5px 0;"> <span style="font-size: 2em; margin-right: 5px;">{</span> <span style="margin-right: 5px;">理由:</span> <span style="flex-grow: 1; border-bottom: 1px solid black;"></span> <span style="margin-left: 5px;">}</span> </div> </td> <td style="text-align: center;">-5点</td> </tr> <tr> <td>9. 項目該当無し。</td> <td style="text-align: center;">0点</td> </tr> </tbody> </table> <p>① 本評価項目（7. 法令遵守等）で評価する事例は、工事の施工にあたって工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。</p> <p>② 「施工」とは、請負契約書の記載内容（工事名、工期、施工場所等）を履行することに限定する。</p> <p>③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、請負会社の現場従事職員及び当該工事にあたって下請契約し、それを履行するために従事する者に限定する。</p> <p>④ 総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8. その他の項目で減ずる措置を行う。【注意：点数は手入力すること。】</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">                 1～7の判定                      仮点    点                  点数                                      _____             </div> <p><b>【上記で評価する場合の適応事例】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽であった事実が判明した。</li> <li>2. 承諾なしに権利義務又は義務等第三者に譲渡又は継承を行った。</li> <li>3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。</li> <li>4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。</li> <li>5. 当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕または公訴された。</li> <li>6. 一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。</li> <li>7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。</li> <li>8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。</li> <li>9. 監督又は検査の実施を、不平等な圧力をかけるなどにより妨げた。</li> <li>10. 下請代金を期日以内に払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金支払遅延等防止法第四条に規定する新事業者の遵守事項に違反する行為がある。</li> <li>11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検された。</li> <li>12. 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織（団体）」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。</li> <li>13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記されている砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。</li> <li>14. 安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆損害事故を起こした。</li> </ol>	措置内容	点数	1. 指名停止3ヶ月以上	-20点	2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点	3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点	4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点	5. 文書注意	-8点	6. 口頭注意	-5点	7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった。	-3点	8. その他 <div style="display: flex; align-items: center; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px; margin: 5px 0;"> <span style="font-size: 2em; margin-right: 5px;">{</span> <span style="margin-right: 5px;">理由:</span> <span style="flex-grow: 1; border-bottom: 1px solid black;"></span> <span style="margin-left: 5px;">}</span> </div>	-5点	9. 項目該当無し。	0点
措置内容	点数																				
1. 指名停止3ヶ月以上	-20点																				
2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点																				
3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点																				
4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点																				
5. 文書注意	-8点																				
6. 口頭注意	-5点																				
7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった。	-3点																				
8. その他 <div style="display: flex; align-items: center; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px; margin: 5px 0;"> <span style="font-size: 2em; margin-right: 5px;">{</span> <span style="margin-right: 5px;">理由:</span> <span style="flex-grow: 1; border-bottom: 1px solid black;"></span> <span style="margin-left: 5px;">}</span> </div>	-5点																				
9. 項目該当無し。	0点																				

別紙－3①（管工事）

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[入力方法] 入力は「1」（半角）又は「0」（半角）又は「-」（半角）の3種類のみ

（検査職員）

考査項目	細別	a	b	c	d	e	
2. 施工状況	1. 施工管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
	「評価対象項目」	青森市工事請負契約標準約款第18条第1項第1号～5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。 主要な工事材料に関して品質に影響が無いよう保管していることが確認できる 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。 作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 海域、水域等において海洋汚染防止など法令遵守はもとより、環境に配慮した取り組みが伺える。			施工管理について、監督員が文書による改善指示を行ったことが確認できる。		施工管理について、監督員からの文書による改善指示に従わなかったことが確認できる。
	評価項目には「1」を入力				上記該当があれば・・・d		上記該当があれば・・・e
	評価できない項目には「0」を入力				該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力		該当すれば「1」、該当しなければ「0」を入力
	評価対象外は「-」を入力				評価値		評価値
	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する。				理由： 。		
	●判断基準	評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・ b 評価値が80%未満・・・・・・ c					
		評価数 評価値 判定					
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目には「-」を入力する。                      ②評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ③評価値 (      %) = 該当項目数 (      ) / 評価対象項目数 (      )                      ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。                 </div>							

別紙-3② (管工事)

[入力方法] 入力は「1」(半角)又は「0」(半角)又は「-」(半角)の3種類のみ

(検査職員)

考査項目		a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  I. 出来形  ※下記以外の工事は、当該欄で評価  評価項目には「1」を入力  評価できない項目には「0」を入力  評価対象外は「-」を入力	管工事  <input type="checkbox"/>	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのバラツキが規格値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の4項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのバラツキが規格値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の3項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのバラツキが規格値の概ね80%以内で、下記の「評価対象項目」の3項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのバラツキが規格値の概ね80%以内で、下記の「評価対象項目」の2項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a～b'に該当しない。	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。
	※ バラツキは主要な工種の出来形管理項目全て(中間検査を含む)を対象に、別紙-4を参照して判断する。 <input type="checkbox"/> 規格値の概ね50%以内 <input type="checkbox"/> 規格値の概ね80%以内 <input type="checkbox"/> 上記以外  「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図面と現場が一致している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 その他 (理由: )  ※ ばらつき判断は別紙参照。  評価数 評価値 判定	評価値  上記該当があれば・・・d  該当すれば「1」、該当しなければ「0」を記入  評価値	評価値  上記該当があれば・・・e  該当すれば「1」、該当しなければ「0」を記入  評価値					
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;">                     ① 出来形は、工事全般を通じて評価するものとする。                      ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。                      ③ 出来形管理とは、「上水道配管工事標準仕様書」、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。                      ④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。                 </div>								
評価項目には「1」を入力  評価できない項目には「0」を入力  評価対象外は「-」を入力  その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する。	機械設備工事  <input type="checkbox"/>	a	a'	b	b'	c	d	e
	※上記欄によらず、当該欄で評価  評価対象外は「-」を入力	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録していることが確認できる。 その他 (理由: )  ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・ a' 評価値が70%以上80%未満・・・・・・ b 評価値が60%以上70%未満・・・・・・ b' 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ c  評価数 評価値 判定	優れている bより優れている やや優れている cより優れている 他の評価に該当しない やや劣っている 劣っている	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。  上記該当があれば・・・d  該当すれば「1」、該当しなければ「0」を記入  評価値	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。  上記該当があれば・・・e  該当すれば「1」、該当しなければ「0」を記入  評価値			
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目には「-」を入力する。                      ② 評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 評価対象項目数 ( )                      ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。                 </div>								

別紙—3③（管工事）

【入力方法】 入力は「1」（半角）又は「0」（半角）又は「-」（半角）の3種類のみ

（検査職員）

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>II. 品質</p> <p>評価対象項目欄 評価できる項目には「1」、 評価できない項目には「0」、 評価対象外は「-」 を入力</p> <p>その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する。</p>	<p>管工事</p>	<p>「材料」</p> <p><input type="checkbox"/> 使用材料は、材料検査及び検収を行ってから使用している。</p> <p><input type="checkbox"/> 使用材料は、品質証明書等を提出し、承諾を得てから使用している。</p> <p><input type="checkbox"/> 材料の保管状況が適切である。</p> <p>「管布設に関する項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 耐震継手の接合は所定のチェックシートで適正に管理、記録されている。</p> <p><input type="checkbox"/> メカニカル・特殊押輪等のトルクを管理したことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> PP継手のトルクを管理したことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> メタルタッチの接合状況が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> PP補強用コアの挿入状況と、位置が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ライナを適切に設置している。</p> <p><input type="checkbox"/> 適正な一体化長さを確保している。</p> <p><input type="checkbox"/> 切管の製作は適正に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 切管の有効長は最小寸法以上を確保している。</p> <p><input type="checkbox"/> 異形管、仕切弁の布設状況が写真で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 不可視部分の写真管理が適切である。</p> <p><input type="checkbox"/> 不断水穿孔箇所管理がよい。</p> <p><input type="checkbox"/> 既設管との切替箇所は適切に施工されている</p> <p><input type="checkbox"/> 給水管の連絡は仕様書どおりに施工されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 水質の管理は適時、適切な位置で行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> ポリエチレンスリーブの被覆が適切である。</p> <p><input type="checkbox"/> 土留めが適切に設置されている。</p> <p>「舗装等に関する項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 確認検査では手直しや指摘事項がなかった。</p> <p><input type="checkbox"/> 砂、路盤の締固めが特に良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 乳剤の散布、塗布が適正に管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 舗装の敷均し温度が適正に管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> ヘアクラックや材料分離、ローラーマークがない。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事写真の黒板の文字が判読できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 完成検査書類は分かりやすく整理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 黒板の配管立体図を正確に書ける。</p> <p><input type="checkbox"/> モルタル充填工は適正に管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由： _____</p>					<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。</p> <p>0</p> <p>評価値 0</p> <p>上記該当があれば・・・d</p> <p>該当すれば「1」、 該当しなければ「0」 を記入</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p>0</p> <p>評価値 0</p> <p>上記該当があれば・・・e</p> <p>該当すれば「1」、 該当しなければ「0」 を記入</p>
							<p>●判断基準</p> <p>該当項目が90%以上・・・a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満・・・a'</p> <p>該当項目が70%以上80%未満・・・b</p> <p>該当項目が60%以上70%未満・・・b'</p> <p>該当項目が60%未満・・・c</p>	<p>評価数 1又は0又は-を入力して下さい！</p> <p>評価値は0又は-を入力して下さい！</p> <p>判定 要精査</p>
<p>①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目には「-」を入力する。</p> <p>②評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 評価対象項目数 ( )</p> <p>④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>								

別紙—3④ (管工事)

[入力方法] 入力は「1」(半角)又は「0」(半角)又は「-」(半角)の3種類のみ

(検査職員)

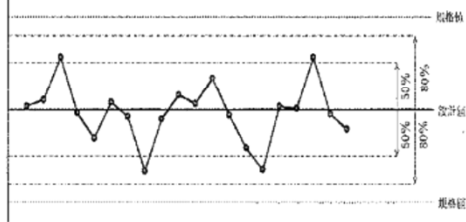
調査項目	工 種	a		b		c		d	
		優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ  III. 出来ばえ  評価項目には「1」を入力  評価できない項目には「0」を入力  評価対象外は「-」を入力	港湾・漁港築造工事 (海岸築造工事を含む)	<input type="checkbox"/>	構造物の通りが良い。						
		<input type="checkbox"/>	施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。			(コンクリート工事がない場合)			(コンクリート工事が含まれる場合)
		<input type="checkbox"/>	構造物等の表面及び端部の仕上げが良い。			※該当4項目以上・・・a			※該当5項目以上・・・a
		<input type="checkbox"/>	きめ細やかな施工がなされている。			該当3項目・・・b			該当4項目・・・b
		<input type="checkbox"/>	全体的な美観が良い。			該当2項目・・・c			該当3項目・・・c
		<input type="checkbox"/>	クラックがない。(コンクリート工事が含まれる場合)			該当1項目以下・・・d			該当2項目以下・・・d
						評価数 対象0項目中0項目該当 (コンクリート工事が含まれない) 判定 d			
		港湾浚渫工事 (地盤改良工事を含む)	<input type="checkbox"/>	規定された水深・勾配又は改良深度等が確保されている。			※該当3項目以上・・・a		
		<input type="checkbox"/>	施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。			該当2項目・・・b			
		<input type="checkbox"/>	施工後の表面及び及び底面等の全体的な仕上げが良い。			該当1項目・・・c			
		<input type="checkbox"/>	浚渫及び盛り等土砂が適切に処理されている。			該当項目なし・・・d			
					評価数 対象0項目中0項目該当 判定 d				
	ブロック製作工事 (ケーン、異形ブロック等)	<input type="checkbox"/>	コンクリート構造物の表面状態が良い。			※該当3項目以上・・・a			
		<input type="checkbox"/>	天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。			該当2項目・・・b			
		<input type="checkbox"/>	クラックがない。			該当1項目・・・c			
		<input type="checkbox"/>	全体的な美観が良い。			該当項目なし・・・d			
					評価数 対象0項目中0項目該当 判定 d				
	道路改良工事	<input type="checkbox"/>	通りが良い。			※該当5項目以上・・・a			
		<input type="checkbox"/>	端部処理が良い。			該当4項目・・・b			
		<input type="checkbox"/>	法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。			該当3項目・・・c			
		<input type="checkbox"/>	施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。			該当2項目以下・・・d			
		<input type="checkbox"/>	きめ細やかに施工されている。						
		<input type="checkbox"/>	全体的な美観が良い。			評価数 対象0項目中0項目該当 判定 d			
	上・下水道工事	<input type="checkbox"/>	空気弁・消火栓等の設置状況がよい。			※該当4項目以上・・・a			
		<input type="checkbox"/>	仕切弁筐の設置状況がよい。			該当3項目・・・b			
		<input type="checkbox"/>	工事写真帳のまとめがよい。			該当2項目・・・c			
		<input type="checkbox"/>	既設構造物との固着箇所の復旧状態がよい。			該当1項目以下・・・d			
		<input type="checkbox"/>	完成図面のまとめがよい。						
		<input type="checkbox"/>	宅地内の復旧状態がよい。			評価数 1又は0又は-を入力して下さい! 判定 1又は0又は-を入力して下さい!			
		<input type="checkbox"/>	舗装の既設構造物へのすり付けが良い。						
	公園緑地工事	<input type="checkbox"/>	仕上げが良い。			※該当5項目以上・・・a			
		<input type="checkbox"/>	施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。			該当4項目・・・b			
		<input type="checkbox"/>	全体的な美観が良い。			該当3項目・・・c			
		<input type="checkbox"/>	通りが良い。			該当2項目以下・・・d			
		<input type="checkbox"/>	天端・端部仕上げ及び目地仕上げが良い。						
		<input type="checkbox"/>	関係構造物との取り合いが適切に行われている。			評価数 対象0項目中0項目該当 判定 d			
	側溝・水路整備工事 (二次製品新設)	<input type="checkbox"/>	仕上がりが良い。			※該当4項目以上・・・a			
		<input type="checkbox"/>	通りが良い。			該当3項目・・・b			
		<input type="checkbox"/>	既設構造物とのすり付けが良い。			該当2項目・・・c			
		<input type="checkbox"/>	施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。			該当1項目以下・・・d			
		<input type="checkbox"/>	全体的な美観が良い。			評価数 対象0項目中0項目該当 判定 d			

出来形及び品質のばらつきの考え方

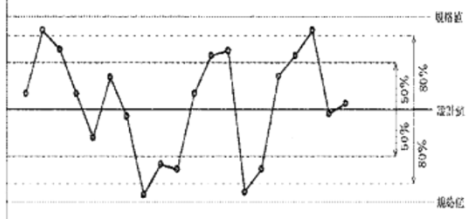
[管理図の場合]

(上・下限値がある場合)

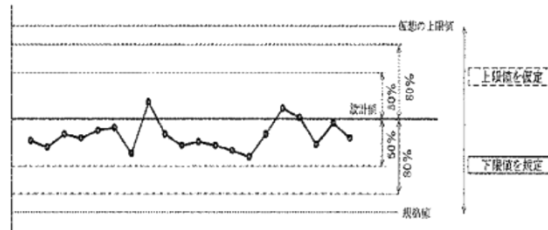
①ばらつきが50%以下と判断できる例



②ばらつきが80%以下と判断できる例



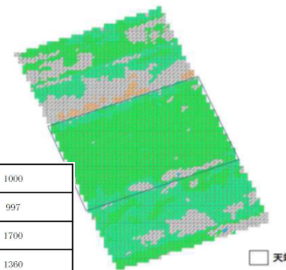
(下限値のみの場合)



③ICT活用工事の例

出来形合否判定表の分布図や計測点の個数によりばらつきを判断

天端のばらつき	規格値の±80%以内のデータ数	1000
	規格値の±50%以内のデータ数	997
法面のばらつき	規格値の±80%以内のデータ数	1700
	規格値の±50%以内のデータ数	1300

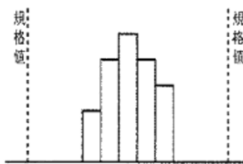


※上限値のない場合のばらつきの考え方は、下限値と同様な値があるものと仮定し、ばらつきの%を考慮する。

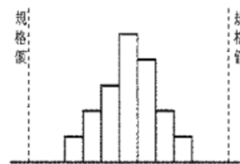
ただし、上記のように上限値が仮定できない場合及び管理項目を設定していない場合は、バラツキで判断不可能とする。

[度数表またはヒストグラムの場合]

ばらつきが小さい



ばらついている



ばらつきが大きい

